

# 部 局 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

部局名	商工観光部	部局長名	田上正洋
-----	-------	------	------

部局の 経営資源	当初予算	10.9 億円		
	構成人員	職員	嘱託	計
		41人	8人	49人
うち 自動車 運送事業 (甑島バス)	(12人)	(6人)	(18人)	

<p>部局の使命 (組織の存在価値)</p>	<p>商工観光部は、商工業の活性化、優良企業の誘致、地域公共交通の整備、川内港における物流・交流の増大、観光客の積極的誘客により地域経済の発展に貢献するとともに、国際交流の促進を図り市民の国際感覚の醸成に貢献します。</p>	<p>組織目標像</p>	<p><b>【施策の目標像】</b>                  中心市街地活性化対策が推進され、来街者が増加                  既存企業の活性化、新規企業立地により、就労機会が増加                  甑島航路及びバス、鉄道等公共交通網の充実、及び高速交通網との連携により、交流人口が増加                  川内港の港湾機能拡充、国際定期航路の増便等により、港湾貨物取扱量が増加                  観光資源や温泉資源の活用が進むとともに、市民に「おもてなしの心(ホスピタリティ)」が浸透し、体験滞在型観光(ツーリズム)を中心に観光客が増加                  市内企業の外国との経済交流が進み、貿易額が増加                  市民レベルの国際交流が進み、市民の海外渡航者、外国人の本市来訪者が増加</p> <p><b>【組織の目標像】</b>                  協調融和の部内グループ体制ともいえる明るい組織                  チャレンジ精神、良き競争心、長期的・地球的視点を持った職員                  職員の協同体                  危機管理が徹底し、何事にも正確・迅速に対応できる組織</p>
----------------------------	--	--------------	---

# 部 局 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

平成20年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容				
重点事項	具体的な成果目標(めざそう値)	具体的な取組内容	進捗状況(年度中間)	年度末の達成状況
1 中心商店街の活性化 【商工振興課】	中心商店街空き店舗率 (15.0%) 中心市街地1日歩行者通行量 (山形屋前 700人) (タイヨー前 1,250人) (南日本銀行前 410人)	中心市街地活性化基本計画の認定に係る関係機関協議 上記計画事業メニュー実現のための関係機関協議・調整 農商工連携の促進(空き店舗活用特産品販売所及びチャレンジショップ開設等) (株)まちづくり薩摩川内の設立及び事業展開の支援	基本計画の認定に向けた取り組み ・内閣府協議実施(3回) ・計画案についてパブリックコメントの実施(8月) ・中心市街地活性化協議会開催(3回) 特産品販売・チャレンジショップ「まちのにぎわい館」オープン(10月3日) (株)まちづくり薩摩川内設立(4月30日) 街中イベント開催 ・一店逸品さつきまつり(5月25日) ・一店逸品七夕市(8月9~10日)  【成果目標に対する数値】 空き店舗率: 16.5%	
2 地域公共交通の活性化 【商工振興課】	コミュニティバス利用者数 (年間24万人)	市内大循環バスの実証運行に向けての調査研究 デマンド交通システム(登録制予約乗合方式)導入の調査研究 安定したコミュニティバス(くるくるバスなど)の継続運行	地域公共交通活性化協議会開催(7月1日) ・連携計画の説明 ・市内大循環バス, デマンド交通システムの協議 自動車運送事業の経営健全化に向けた調査研究着手	

# 部 局 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

			【成果目標に対する数値】 上半期利用者数：139,544人	
3 企業の拡張・新規立地促進 【企業・港振興課】	新設・増設企業 (3社) 新規雇用者数 (120人)	高城町西町2号用地の整備 企業訪問の実施 内陸部・臨海部工業団地の検討	工業団地整備 ・青山用地整備事業着手 (10月17日完成) ・高城町西町2号用地整備事業着手 (H21年3月完成予定) ・高城町瀬ノ岡での整備事業検討(概略設計)着手 新規立地企業 - 2社 ・(株)九州理工 ・(株)アクセレートデバイス 立地企業振興のため、市内企業訪問を実施  【成果目標に対する数値】 新設・増設企業：2社 新規雇用者数：約50人	
4 川内港・甑島航路の実現 【企業・港振興課】	川内甑島間高速船就航案の決定	甑島市民への情報提供 甑島商船(株)との就航船舶、航路設定等に関する協議 国・県との補助航路協議 県との関連港湾施設整備協議	「甑島航路に関する市の考え方」のチラシを甑島市民に配布 甑島地域地区コミ会長との意見交換会開催 (6月) 甑島地域地区コミ会長と甑島商船の意見交換会開催 (8月) 補助航路に関する国への要望実施(九州運輸局ほか) 国土交通省本省要望は、10月22日予定	

# 部 局 経 営 方 針

薩摩川内市

平成20年度

<p>5 川内港コンテナ航路の拡充 【企業・港振興課】</p>	<p>年間コンテナ取扱数 (1万TEU)</p>	<p>ポートセールス(関係企業・団体訪問,輸出入情報収集,川内港PR)の実施 ポートセミナー(関係企業・団体研修会)の開催(東京) 船会社(韓国・興亜海運)訪問 中国・常熟市港管理局との交易促進協議</p>	<p>ポートセールス実施 (199回) ポートセミナー実施 (7月30日,東京) 船会社(韓国・興亜海運本社を市長が訪問,川内港への週2便寄港等を協議 (7月16~18日) 中国・常熟市の経済開発区,商社,貿易局等と交易促進協議を実施 (7月23~26日)</p> <p>【成果目標に対する数値】 上半期コンテナ取扱数: 4,088TEU</p>	
<p>6 観光都市への基盤整備 【観光課】</p>	<p>日帰り客数(年間200万人) 宿泊客数(年間35万人) 観光ガイド登録者数(30人) 宿泊施設客室増加数(300室)</p>	<p>大手旅行社等からの観光アドバイザー招聘 観光協会の組織拡充 市内宿泊施設の拡充 新たな旅行パックの造成 大手旅行社等と連携した関西・中国・北部九州からの誘客活動の実施</p>	<p>観光アドバイザーを招聘 近畿日本ツーリストから (7月1日~) 観光協会の組織拡充 ・川内駅改札前に観光インフォメーションコーナー設置(4月) ・甑島案内所設置 (里町,5月) 市内宿泊施設の拡充 ・ホテルこしきしま親和館 (下甑町,4月オープン) ・民宿あづま (下甑町,6月オープン)</p>	

# 部 局 経 営 方 針

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホテル東横イン薩摩川内駅前 (平佐町, 建設中)</li> <li>・ホテルルートイン薩摩川内 (西向田町, 建設中)</li> <li>新たな旅行パックの造成 市比野温泉地域で11月実施へ 向け調整中 (従来パック「人形浄瑠璃とフル ーツ狩りツアー」は7月27日 に実施)</li> <li>誘客活動の実施 10月16日~17日 大阪市へ プロモーション活動実施予定</li> </ul> <p>【成果目標に対する数値】 観光ガイド登録者数：26人 宿泊施設客室増加数：38室</p>	
<p>7 ツーリズムの 促進 【観光課】</p>	<p>体験農家登録数 (100軒) グリーン・ツーリズム参加者数 (年間300人) ブルー・ツーリズム参加者数 (年間200人)</p>	<p>ツーリズム受入れ態勢の整備 農家・漁家体験メニューの充実 教育旅行誘客活動に係る関係機関 訪問</p>	<p>ブルー・ツーリズム事業 甕島地域で約30の体験メニ ューを作成し受入れ開始 グリーン・ツーリズム事業 グリーン・ツーリズム推進協議 会を設立(6月) 教育旅行誘客活動のため, 10月16日~17日 大阪市へ プロモーション活動実施予定</p> <p>【成果目標に対する数値】 体験農家登録数：6軒 グリーン・ツーリズム 参加者数：120名</p>	

# 部 局 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

			ブルー・ツーリズム 参加者数：225名	
年度中間総括	<p>おおむね順調に推移しているが、次の事項に遅れがあるため、下半期において目標達成できるよう努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「1 中心商店街の活性化」について、空き店舗率が減少しておらず、また大規模未利用地開発の目処がたっていない。</li> <li>・「5 川内港コンテナ航路の拡充」について、コンテナ取扱数が伸び悩んでいる。</li> <li>・「6 観光都市への基盤整備」について、民間ホテルの着工遅れにより、成果目標のうち宿泊施設客室増加数（300室目標）が未達成の見込み。</li> <li>・「7 ツーリズムの促進」について、グリーン・ツーリズムの受入れ態勢づくりが遅れている。</li> </ul>			
年度末総括				